



株式会社中央園芸



- 「循環型の庭作り」。一般的に廃棄物となる落ち葉や幹枝、根っこなどを環境改善資材として有効活用。コンクリートガラや古瓦、古民家の古材なども造園工事で使用。分別を徹底し、再利用する。
- 造園工事（雑木の庭づくり）、庭の環境改善（水はけ改善）、里山等自然環境の再生事業（大地の再生）、ワークショップの開催（人工林の再生、盆栽づくり等）などを通じて、自然環境の課題解決に関わる。

環境SDGs 取組内容

【生物多様性】【化学物質等】

- ✓ 土中の空気と水の流れを再生、植物や生き物の生育を支援し、土砂災害や山林荒廃などの環境破壊を防ぐ、健全な土地づくり
- ✓ 農薬や消毒液の散布はせず、化学物質は使わない

【廃棄物】

- ✓ 一般的に廃棄物とされる落ち葉、剪定枝、コンクリートガラを造園工事の資材として活用するなど、基本的に廃棄物を出さない
- ✓ 雑木の庭の植栽、移動式植栽ポットなどで緑の普及活動を図る

【3Rの推進】

- ✓ 工事の残土、コンクリガラや樹木の幹、枝葉、根など分別を徹底
- ✓ 再利用可能なものは繰り返し利用する「循環型の庭作り」
- ✓ 剪定枝は腐葉土化・チップ化、苗木も木の実や種から自社生産

【社会貢献活動】【人材育成・環境学習】

- ✓ 地域の環境に適した在来種を活用し、寄居町内の街路樹を設計
- ✓ 各地で人工林や里山の再生の定期的な活動、人材を育成



定着のための活動

- ✓ 代表取締役が中心となり、従業員、取引先などの関係者を、SDGsに関わるさまざまなプロジェクトに巻き込み、地域全体で連携して環境SDGsを推進している。
- ✓ 人工林や里山の再生についての活動を定期的に行い、ワークショップで参加者に実践させ、普及を促す。
- ✓ 最寄り駅前の、一般的な価値観を刷新した「在来種の寄せ植え」の街路樹づくりに参画し、市民や観光客へ視覚的に植栽づくりをアピール。
- ✓ 敷地造成から建築、外構、造園工事まで大地を痛めない、持続可能な住まいづくり、街づくりに関与を深める。

■ 会社概要

- ✓ 住所：埼玉県大里郡寄居町用土2308-2
- ✓ 事業概要：職別工事業（設備工事業を除く）
- ✓ 従業員数：2人
- ✓ 代表者：代表取締役社長 押田 大助
- URL：<http://www.chuou-engei.co.jp/>